

## 原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和4年4月26日（火）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：黒川長官官房総務課長

### <本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから4月26日の原子力規制庁定例ブリーフィングを始めます。

○黒川総務課長 報道官の黒川です。

お手元の広報日程に沿って説明をいたします。

まず、明日の委員会の定例会の議題は4つです。

まず、議題1、高浜発電所のバーナブルポイズンの保管場所変更に関する審査結果取りまとめということで、バーナブルポイズンというのは、中性子吸収物質を金属製の管に封入して原子炉の出力を調整するというものでありますけれども、これは使用済みになったものを、今、使用済燃料プールに置いてあるのですけれども、それを蒸気発生器保管庫に移すということについての許可案件です。今回、審査結果を取りまとめて、原子力委員会と経済産業大臣の意見を聞くというのを諮るということになります。

議題の2つ目ですけれども、女川2号炉の有毒ガス防護、これはバックフィット案件ですけれども、それに関する審査結果の取りまとめです。

これも議題1と同様に審査結果を取りまとめまして、原子力委員会と経済産業大臣の意見を聞くということについて諮るというものであります。

議題の3つ目が、炉安審の委員の任命についてということで、今回は火山の専門家についての任命ということになります。

炉安審の審査委員のうち火山の専門の方が2名いらっしゃるのですけれども、その方を、任期が来ましたので再任するということになります。

あわせて、委員会の決定事項ではないのですけれども、臨時委員と専門委員という立場の方もおられまして、その任命を報告するということもあります。

炉安審の火山を専門とする臨時委員は今回増員されることになりまして、理由は、従来は火山モニタリングの対象が九州だけだったのですけれども、新しく十和田、八甲田が対象に加わるためになります。

次が、議題4、柏崎刈羽の追加検査の中間取りまとめということになります。

これは検査で把握しました事実関係などを報告するとともに、今後、東電の改善措置について引き続き検査を続けていくこととなりますけれども、その検査に当たっての評価の視点というものを示すということになります。

あしたは非公開の臨時会議もあります。

これは炉安審・燃安審の審査委員の選考ということで、先ほど議題3で、火山が専門の委員は先に任命することになりましたけれども、それ以外の委員の方について、任期を今回迎えることになりますので、次期の委員の選考を行うというものになります。

次が、3ページ目まで行きまして、5月10日の（8）第438回の核燃料施設等のほうの審査会合です。

議題は、リサイクル燃料備蓄センターについてということで、設工認ですけれども、前回のコメントへの回答で、内容は耐津波設計についてということになります。

次が、5月10日の（9）第439回のほうの審査会合です。

議題は常陽でありまして「大規模損壊等に係る審査のため非公開」と書いてありますけれども、具体的には航空機衝突について議論をするので非公開ということになります。

あと、最後のページですけれども、その他のところ、国際原子力規制者会議（INRA）とありますけれども、これは各国の規制機関のトップが毎年集まって意見交換を行うという会議でありますけれども、各国持ち回りで年ごとに主催をしています。

今回のホスト国は日本になりまして、5月2日から5月5日のスケジュールで仙台市で開催されます。会議の前後に六ヶ所と女川の視察が予定されていますので、場所が青森、宮城と書いてあります。取材対応はしないことになります。

こちらからは以上です。

#### <質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり所属とお名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。質問のある方は手を挙げてください。

よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。

ありがとうございました。

—了—